



ふくだ みつき  
福田 弥己さん  
(10歳・光6町内)

- 将来の夢  
サッカー選手
- 誰にも負けないもの  
虫の名前や捕まえ方などの知識
- 今一番したいこと  
釣り
- みんなに伝えたいこと  
ありがとう

# 菊陽人 りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



ふくだ りこ  
福田 莉子さん  
(6歳・光6町内)

- 将来の夢  
ダンサー
- 自慢できること  
ことわざカルタ
- 今一番したいこと  
料理
- お父さんに伝えたいこと  
大好きよ

ゆ た かな 心 を は ぐ く む

# 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権作文  
【No.77】

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎(232)2113

※作者の学年は前年度の在籍学年です。  
◇印からの文章は、先生のコメントです。

自分が「しっかり生きていく」ために  
菊陽中学校 1年 山部 優風



▲少しずつ、一つずつ

私は今までの勉強を振り返ってみて、たくさんいいところや直していくべきところに気付かされました。  
私は前から相手に本当の思いを伝えることが苦手で、いつも言う前に「この人はこうだから」と決めつけて怖がって言えませんでした。でも勉強していくにつれて、勝手に決めつけているおかしな自分に気付き、今直していけるように、自分を振り返ったりして頑張っています。  
こんなことを言っても、まだその人その人で思いを伝えている人や伝えられない人がいるので、もっと相手のことを知ってお互いの気持ちに分かり合えるようになりたいです。  
この目標を決めていたから、私は相手

が悪かったとしても、自分にも悪いところがあると考えるようになりました。これまで、相手がこんな風に思うからとか考えすぎてしたくないことを無理してでもしてしまっていました。だから私は、自分のことも大切にしながら、相手も大切にしていきたいです。そのため私は、相手の立場になって考えること、自分ができるものはできないとちゃんと思いを伝えようと思います。  
また、ありのままの自分を出していく大切さを学びました。私は人の前で発言することは恥ずかしく、間違えているからと恐れて発表できません。でも水戸社宣言で行動を起こした西光万吉さんや水保の方、いじめや差別と闘っている人の行動を知って、自分を見せることは恥ずかしいことではないことに気付かされました。私は、これからはたくさん間違えて恥をかいていろいろなことに気付き、諦めたりせずにチャレンジしていこうと思えました。自分のおかしさに気付いても、まだ直せないと気がたたくさんあると思うけど、それをすぐに全部直そうとするのではなく、少しずつ一つ一つでいいから直していきたいと思います。  
◇1年間、「自分を見つめる」というテーマで授業を行いました。作文には、こんなふうに変わっていきたいという優風さん自身の強い気持ちが描かれています。この気持ちが差別をなくすることにつながっています。

お手伝いをしたよ  
もみじ園 中西 慶樹 5歳



▲けんかもするけど大好きお兄ちゃん

お兄ちゃんとブロックで遊んだ。一緒に遊んでけんかした。なんでけんかしたか忘れた。遊んだあと、晩ごはんのお手伝いをした。お兄ちゃんはおもちゃの片づけをした。いつも、僕が箸を並べる。お兄ちゃんはおあんまり手伝わない。  
◇お話が好きで、家であったことなどよく話して聞かせてくれます。大好きなお兄ちゃんとのけんかやお母さんのお手伝いをしたことを描いてくれました。園では小さい友達に着替えなどを手伝う優しい慶樹さんです。

## きくよう文芸

### 菊陽句会報

夏草に猫は尾を立て何捜す	佐藤 節	返り花一日の幸を庭日和	野口 令史
差し掛けてくれし日傘を頼り歩す	吉野 早苗	合歓の花やさしき風や子の笑顔	藤本 純子
釣人も鳶も梅雨晴間	井上久美子	黒日傘二つ並びて納骨日	財津 早雪
山肌の梅雨夕映えに輝けり	宮川ユキエ	香り摘むむらさきの丘ラベンダー	原野レイ子
山開せめて裏山登りたく	日高 妙子	暮れてより白浮き立ちぬ立葵	力 幸子
溺れつつ根付し色に植田かな	曾我 育代	握り初むでんでん大鼓やねむの花	高橋 孝子
登校の友となりたる兜虫	曾我トモ子	風そよぐ手渡す早苗の息も合ひ	堀川 妙子
スクールバス梅雨の傘持つ母の見ゆ	紫藤 祥子	久しぶり友をまらえて夏料理	福田 貴子
蓮池の巻葉や風に立ち上る	村上 朋子	傘干すに明日は梅雨空戻ららし	佐藤 澄世

### 短歌会

梅雨の日にぐんと伸びゆく庭の草根を張り強くたくましく見ゆ  
誰よりも早く出したい秋キャベツ苗五千本を植えて付けてゆく  
天も地も水一色に染めあげて水漬くの里は初夏の風吹く  
咲き誇る白き紫陽花日を追いて淋しき青さ染み出づるなり  
降る雨にさ庭の木々は雫して枝重たげに揺れ止まずなり  
霧深く深山の谷の奥深く雲立ちのぼりて山をおおいぬ  
故郷を思ふは老いたる証やも訛は吾を誘ふがごとし  
カワセミとヤマセミも棲む川なりと楽しき時か今日の思ひの

今村 貞子  
梅田 國雄  
河北 幸一  
佐藤せい子  
中村トシエ  
松岡富紀子  
山川 カツ  
松本 東亜